

# KEIZAIREN 情報2

2021.02 NO.1277

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

## 組合員のくらしに貢献する「生活葬祭課」



トップセールス 松永会長ビデオメッセージ



JA静岡厚生連へイチゴを贈呈

### Main topics

組合員のくらしに貢献する「生活葬祭課」…01

#### topics&news

秋冬青果物の取引拡大を

東京大田市場でトップセールス .....03

静岡県いちご協議会

静岡いちごで医療従事者と高校生を応援 …03

全国茶品評会

農林水産大臣賞の受賞を知事に報告 .....04

県産いちごの品質向上を

第31回静岡県いちご果実品評会 .....04

県産米が日本一に

第17回お米日本一コンテストinしづおか開催 ...05

ジェイエイ静岡燃料サービス(株) 初の車検整備施設(認証工場)

JASS-CARSいとうオーブン .....05

県産野菜の消費拡大をめざして

県産野菜セットをネット販売 .....05

#### 営農支援だより

持続性のある地域農業・社会に向け、  
農業振興基金協会助成事業の積極的な活用を!...06

#### 最新研究紹介 農林技術研究所だより

トマト軟果の発生原因と対策 .....07

#### お知らせ

建設部からのINFORMATION .....09

あぐりんく静岡からのお知らせ .....09

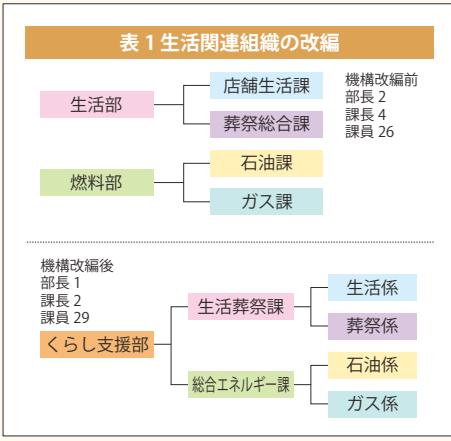
JAタウンしづおか「手しお屋」のオススメ商品 ...10

テレビ番組「しづおかごはんが食べたい!」のご紹介 ...10

## 組合員のくらしに貢献する「生活葬祭課」

### I 新たな生活関連組織

2019年末より始まったコロナ禍で、国内外の経済活動は停滞し、個人消費も落ち込み、組合員の生活は厳しさを増しています。このような中にあって、これまでの事業を、相互に関連をもたせながら維持拡大を図る方策が求められるようになりました。そこで、組織の一一本化を図り、運営の合理化をめざすこととしました。それを受け、組合員の皆様の生活を預かる生活関連部署を、「生活葬祭課」としてひとつに整え発足しました。



▲健康サロン会場風景

### II 生活葬祭課の事業

昨年度まで生活部の店舗生活課と葬祭総合課を今年度は「生活葬祭課」とし、部を「くらし支援部」としました。加えて燃料部の2課もくらし支援部に入りました。その組織の改編は表1のとおりです。

#### 1 生活葬祭事業

生活葬祭課の事業は、これまでのとおり店舗事業、生活事業、葬祭事業の3本で組み立てています。

令和元年度の実績は、店舗事業は23億4千万円、生活事業は16億円、葬祭事業は17億円、合わせて56億円でした。前年度に比べ消費税増税に伴う特需が発生したため、生活事業は増加しましたが、店舗事業と葬祭事業は減少しました。

### 2 最近5カ年の実績(表2)

最近5カ年における3事業の事業量の流れを表2に示します。

①店舗事業は、平成27年度32億円の事業量であったものが、令和元年ににおいては23億円となりました。これはエーコープ店舗の閉店や規模縮小が大きく影響を与えています。②生活事業は、平成27年度18億円の事業量でしたが、令和元年度においては16億円と89%となりました。

③葬祭事業は、平成27年度20億円の事業量となりましたが、令和元年度には17億円となりました。

こうした事業のいすれも農家組合員の生活を支えているものであ

り、今後ともきめ細かく地道な推進を重ねていきます。

### III 店舗事業

#### 1 店舗事業の実績

①店舗事業は、平成30年度25億円、令和元年度23億4千万円の実績をあげました。

②飲料と業務用砂糖は、不安定な消費情勢でしたが、令和元年度飲料は6億円、業務用砂糖は4億円の実績でした。

③青果物と一般食品は、4億円から5億円の売上げでした。

④新規のくらしの宅配便は、17百万円の実績で、全農マーケットを小ロットで発注出来る利点があり、取扱うJAHは増加傾向にあります。

#### 2 店舗事業の主な事項

①店舗事業は、JAHプライベートブランド飲料の製造出荷が好調でしたが、エーコープ店舗の閉店による取扱品目と、ファーマーズ店舗への青果供給が影響を受けました。

②県産茶葉の消費拡大を目的とした、特定保健用食品「香るほつ茶」は、県下JAをはじめ、全国のJAグループ(全農各県本部、エーコープ各社)や一般小売店、量販店、食品药品問屋各社との新規取引に向けて推進しました。

③みかん果汁飲料「みかん日和」は、機能性食品として「GABA」の取得を行い、PRと推進をすすめました。

## IV 生活事業

### 1 生活事業の実績



▲エーコープマーク商品

- ①生活事業は、令和元年度16億円の実績をあげ、平成30年度に比べ3千万円の増となりました。
- ②一般耐久財は34%増と好調でしたが、代行推進や商品展示会などが少なくなったこともあり、健康機器、電気製品、身装品などの取扱が減りました。

- ③日用品類と衣料品は1億5千万円、配置薬、商品券は1億円の売上げでした。
- ④仕分品は、食材宅配事業の取扱により2倍の伸びを示しました。

### 2 生活事業の主な事項

みました。

②食材宅配事業は、パルシステムと協業して、高齢者の買い物支援や、仕事や子育て世帯の家事支援をすみました。現在は、西部地区3JA、中部地区1JAが取り組んでおり、実稼働件数は1,041件となっています。

③JA葬祭利用者や組合員・地域の皆様へのサービス拡充として、人形ぬいぐるみ供養祭の開催やペット火葬セレモニーの取り組みを開始し、JA葬祭ファン拡大に取り組み、同業者との差別化を図りました。

## V 葬祭事業

### 1 葬祭事業の実績

- ①葬祭事業は、平成30年度18億円、令和元年度17億円の実績となりました。
- ②一般葬祭品は、7億円の実績をあげ、平成30年度に比べ14%増加しました。

- ③葬儀会葬者の減少や法事等の簡素化により、葬祭ギフト、葬儀施行等が減るもの、合わせて7億円の実績をあげました。
- ④搬送、靈柩、仏壇、石材類、ホール施行は、ほぼ前年並みとなりました。

### 2 葬祭事業の主な事項

- ①JA葬祭事業の重要な事業として実施する県下統一広報活動は、Webプロモーションとしてパソコン、スマートフォンを利用する40代から70代の喪主年齢層を中心に周知を強化してJAブランドの認知を向上する取り組みをすすめました。
- ②静岡県農協葬祭事業連絡協議会（事務局本会）が主催する各種研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせ、農協流通研究所が主催する研修会を



▲みかん果汁100%ジュース「果実の香りぎゅっとみかん」



▲祭壇の一例

- 県内外に対してPR活動と販売促進活動を実施し、県下JAや大手量販店チェーンへ「香るほつ茶」の販売促進を行なっています。合わせて静岡産茶葉やみかん果汁のPRをすすめています。

## VI 自己改革の取組み

### 1 静岡県産茶葉、みかんの消費拡大につながる飲料の販賣

- 新型コロナウィルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令による移動制限などの措置を受け、国内外の経済活動は停滞状態にあります。本会はもとより、新しく発足した生活葬祭課は、組合員の皆様のくらしに貢献するよう頑張りますので、よろしくご支援のほどお願い申上げます。

## VII 組合員のくらしに貢献

### 2 JA葬祭ファンの拡大

多様化する消費者ニーズへの対応と、新規商品の選定、集客イベントの開催などを実施し、JA葬祭ファンを増やす取組みを強化します。取組みの企画としては、葬儀事前相談会、相続セミナー、人形供養祭、追悼コンサートなどの事前相談とアフターフォローを提案し、利用者満足度を高めています。

## 東京大田市場でトップセールス

12月15日、みかん園芸部は、東京大田市場でトップセールスを行い、市場関係者らおよそ50人が参加しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で例年実施している競売台への登壇を実施せず、事前に収録したビデオメッセージを上映しトップセールスを行いました。

ビデオメッセージでは、本会の松永経営管理委員会会長が「本年は大きな天候の被害もなく好天に恵まれた。各品目順調な生育が続き、例年以上に高品質な商品をお届けできる。本県JAグループとして、コロナ禍における



▲ビデオメッセージで挨拶する松永会長



▲ビデオメッセージ収録の様子



▼県産青果物の展示▶



る新生活様式に即した消費拡大対策を実践し、消費者の皆様に喜ばれる静岡県産農産物を出荷できるよう努力しています」と挨拶。次いで生産者からのビデオレターで産地状況を報告しました。

会場では、市場の買参人などに青島みかん、いちご、セルリー、レタスなどを展示し、静岡県産青果物の品質の高さをアピールしました。

## 静岡いちごで医療従事者と高校生を応援

### 一・JA 静岡厚生連

12月17日、静岡県いちご協議会(事務局・野菜花卉課)飯田寿夫会長と本会加藤敦啓代表理事理事長は、県農業会館のJA静岡厚生連を訪れ、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、医療の最前線にあたる従事者に感謝の気持ちを表し、静岡いちご「紅ほっぺ」と「きらぴ香」計300パックを贈呈しました。

贈呈したいちごは厚生連の病院や介護施設などの医療従事者に届けられました。

### 二・高校生

12月18日、

同協議会は藤枝市の藤枝順心高校を訪れ、女子サッカー部に静岡いちご「きらぴ香」を贈呈しました。

JA静岡厚生連は、今回贈呈式を行つた藤枝順心



▲JA静岡厚生連



▲藤枝順心高校

高に加え東海大付属静岡翔洋高ラグビー部、常葉大附属橘高女子サッカー部、藤枝明誠高男子サッカー部、聖隸クリストファー高男子バレー部、富士見高女子バレー部に合計500パックのいちごを贈呈し、コロナ禍で活動が制限される中、団体球技で全国大会へ出場する高校生を応援しました。

藤枝順心高女子サッカー部は、1月3日から10日に行われた第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会で、見事優勝を果たし、連覇を達成しました。これを祝し、同協議会は、1月20日にいちご100パックを贈りました。

## 農林水産大臣賞の受賞を知事に報告



12月21日、第74回全国茶品評会で農林水産大臣賞を受賞した相藤農園と農業生産法人掛川中央茶業株式会社研究部会の生産者、本会石川和弘常務理事らが静岡県庁を訪れ、川勝平太静岡県知事に受賞を報告しました。

深蒸し煎茶の部で受賞した掛川中央茶業株式会社は「茶園共進会や土壤診断を欠かさず行い品質の向上に努めてきた。これらの取り組みが今回の受賞に繋がった」と受賞の喜びを報告しました。普通煎茶4kgの部で受賞した相

藤農園は「毎年品評会に出品し審査結果を踏まえて茶園管理と製造に取り組んできた。これまでの伝統を受け継ぎながらさらなる技術の向上

を目指したい」と意気込みました。



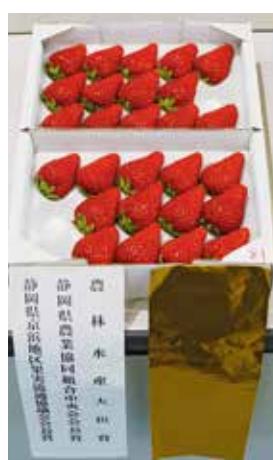
▲令和2年8月に開催された全国茶品評会審査会の様子

## 第31回静岡県いちじご果実品評会



・品種名)。

評しました。上位受賞者は次の通り(敬称略、カッコ内はJA名・品種名)。



金賞1席 佐々木敦史 (JA遠州夢咲・紅ほっぺ)
金賞2席 加藤隆仁 (JA掛川市・きらぴ香)
金賞3席 永倉玄太 (JA伊豆の国・紅ほっぺ)
金賞4席 渡邊裕介 (JA遠州夢咲・紅ほっぺ)
金賞5席 齋藤祐貴 (JAしみず・紅ほっぺ)

県産米が日本に

## 第17回お米日本一コンテスト㏌しづおか開催

12月18日、お米日本一コンテスト実行委員会(事務局・県農芸振興課)は「第17回お米日本一コンテスト㏌しづおか」の最終審査を磐田市の県農林技術研究所で開催し、JA御殿場青年部高根支部が最上位となる実行委員会会長賞を受賞しました。また、JA御殿場深沢部農会の小松勝三さんも最高金賞に入賞し、県内から2者が入賞する快挙となりました。

同コンテストはお米、ごはんを中心とした和食文化の推進と良食味米の产地育成、消費拡大を目的に平成16年から毎年開催しています。最終審査では、全国34道府県から出品された597点のうち食味評価機器審査を通じた75点について、審査員12人が食味官能審査を実施し、本会食糧課の古川信好コンサルタ



▲審査員を務めた、鈴木コンサル(左)と古川コンサル(右)



▲同支部が使用した肥料



▲JA御殿場青年部高根支部

ントと生産振興開発課の鈴木秀規コンサルタントが審査員を務めました。受賞した同支部は、JA御殿場高根支店の杉山浩也職員と勝又友之職員に基づき、美味しい米作りに取り組んできました。その結果、「日本一」と「2年連続県知事賞」という輝かしい成績を収めました。同支部では、本会とメカで良食味米生産に向け考案した「FT-E水稲有機ペレット621」を主な肥料として使用しました。



JASS-CARSいとう  
〒411-0036伊東市宮川町1-4-6  
TEL0557-55-7758 定休日:毎週水曜・日曜

ました。  
P R し  
まし  
た。

伸工場長は「当店は設備が整っております。車検や修理に限らず、お車の購入や備品の取り付けなど、お車に関する相談は当店までお気軽に来てください。また、当店をご利用のお客様にはJASSで使える特典をご用意していますので、たくさんの方の

JASS-CARSいとうの手塚郷中古車販売に加え新車リースも取り扱っています。

S-CARSいとうをオーブンしました。この施設は、同社にとって初めての車検整備施設(認証工場)で、車検や修理はもちろん、これまで近隣のJASS-SPORTなどで行っていた

ジエイエイ静岡燃料サービス株  
初の車検整備施設(認証工場)  
JASS-CARSいとうオープン

県産野菜の消費拡大をめざして  
県産野菜セットをネット販売



12月15日、静岡県農協青果物消費宣伝事業推進委員会(事務局・野菜花卉課)は本会営業部と協力し、インターネット通販サイト「JAタウン」で、静岡県産野菜のセット(写真)を販売しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で野菜の価格が低迷する中、県内生産者の支援と県産青果物の消費拡大が目的。レタス、トマト、セリリー、イチゴなど計11種の県産野菜をセットし、120セット販売しました。



# 営農支援だより

作物・産地・営農・技術・  
資材などの情報をお届けします。

持続性のある地域農業・社会  
に向け、農業振興基金協会助  
成事業の積極的な活用を！

## 農業振興基金協会とは

農業振興基金協会は、県及び農業団体が実施する諸施策の補完・充実に向け、県と農業団体が一体となつて昭和56年8月25日設立（社団法人静岡県農業振興基金協会）、さらに、より公益性を高めるため、平成24年4月1日から「公益社団法人静岡県農業振興基金協会」として、再出発、現在に至っています。

## 農業振興基金協会の助成事業

- 農業・農村が地域社会に果たしていく持続性のある役割の發揮に向け、必要な経費は基本財産（県及び農協中央会の出資金、JHAグループの寄託金…40億100万円）の運用益等を充てています。設立当初から令和元年度までの事業実施状況は、実施件数約4,000件、助成額約20億4,300万円となっています。
- 現在、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化等に向け、助成事業を実施しています。
- 助成事業のうち、一般事業は、農業者等が主体となつた現場における課題解決に向けた取組に対し、必要な経費の一部（1／2以内、助成金限度額有）を助成しています。

### ① 担い手育成対策事業

地域農業の担い手の育成・確保を図るため、農業者の経営能力や技術向上のための研修、仕組みづくり

等、地域農業の担い手の育成・確保に取り組む農業者等の組織、担い手の組織及び農業協同組合が実施する事業。

## ② 地域農業振興対策事業

農産物のマーケティング、新技術・新品种の導入、安全安心な農産物の生産基盤づくり、耕作放棄地対策等の地域農業の振興に取り組む農業者等の組織、農業協同組合及び市民団体（鳥獣被害対策、耕作放棄地再生等（鳥獣被害対策、耕作放棄地再生等のみ）が実施する事業。

## ③ 農村振興対策事業

地域の特産づくり、グリーンツーリズム、食農教育の推進等、農村地域の振興に取り組む農業者等の組織、農業協同組合及び市民団体（食農教育・花育のみ）が実施する事業。

## 令和2年度の一般事業

- 事業実施件数46件、総事業費4,280万円に対して、助成金1,596.6万円の助成金を支給しています。
- これらの中で、複数の事業主体からのものは、現状、特に問題点を把握そこから課題を設定、その達成に向け、施策を立案、その実行に助成事業を活用、こうした構図ができるがつており、こうした取組が拡大することを期待しています。

## 令和3年度の助成事業の取組に向け

- 最初に考えていたたきたいのが「問題」と「課題」です。人によつては、「問題」を「課題」として捉えている場合があります。例えば、「担い手不足」は問題、これを「課題」としていることがあります。この場合、「担い手育成・確保」が課題となります。
- そして、「問題」の解決に向け、「課



▲JAしみず こん太部会

公益社団法人静岡県農業振興基金協会  
電話054(284)9545

### ◎助成事業の照会先

事業実施件数は、平成28年度の81件をピークに減少していることから、その拡大に向け、JA、農林事務所等への事業活用の提案をはじめ、ホームページ(<http://group.jashizuoka.or.jp/kokin>)での情報発信、農政・営農担当部課長会議等での働き掛けを通じて、事業の掘り起しに努めています。

来年度も、引き続き、助成事業の募集を予定していますので、基金協会助成事業をツールとして有効に活用し、生産現場の課題達成に向けた取組にお役立てください。（公益社団法人静岡県農業振興基金協会 糟屋和良）

# トマト軟果の発生原因と対策



静岡県農林技術研究所  
野菜生産技術科  
上席研究員  
今原淳吾

## 一 はじめに

通常よりも速く軟らかくなつてしまふ果実を、「軟果」と呼んでいます。

軟果は、出荷後商品価値が著しく低下するため、生産者は廃棄を余儀なくされています。現地を調査したところ、時期によっては、軟果において30%以上廃棄する生産者もいました。このように軟果はトマト生産において大きな問題です。しかしながら、これまで軟果の発生原因は明らかになつていませんでした。

## 二 現地で発生した軟果の特徴

軟果の原因を探るため、現地でトマト果実を集め、果実を触った感覚で硬さ別に4段階に分け、果実品質を調査しました。

果実のゼリー部と果皮の間にある果肉部分を中果皮と言いますが、軟果は中果皮が薄いことが分かりました(図1)。また、軟果は糖度・酸度・

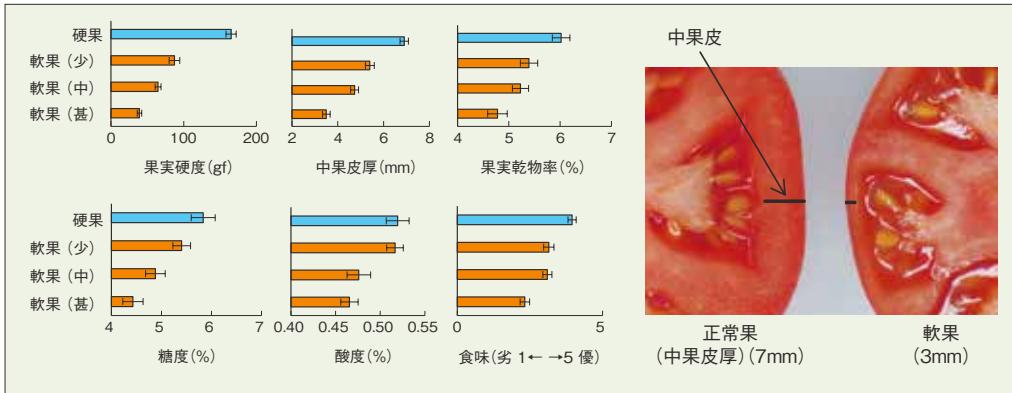


図2 軟果は糖度・酸度・果実乾物率が低く食味が劣る

図1 軟果は中果皮が薄い

## 三 軟果の発生原因と対策

果実乾物率が低く、食味が劣りました(図2)。このことから、軟果の発生原因是、光合成不足であると考えました。

### (1) 光量不足で軟果が発生

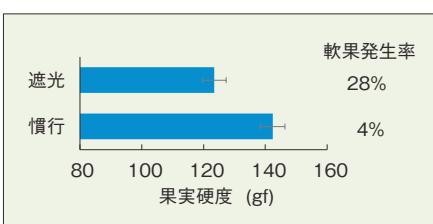


図3 遮光すると軟果が発生

遮光して光量が不足すると、中果皮は薄くなり、軟果が発生しました(図3)。

次に、遮光条件下で、着果数と軟

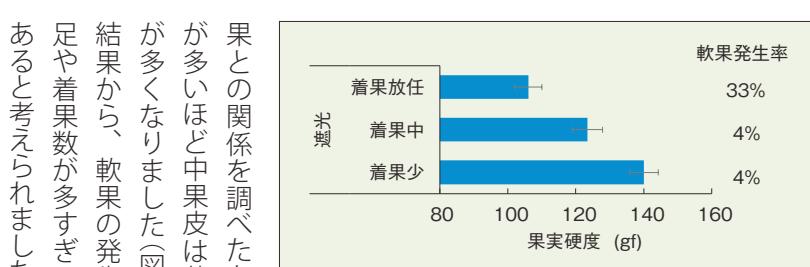


図4 着果数が多いと軟果が発生

着果中区：果房あたりの目標着果数 4 果  
着果少区：果房あたりの目標着果数 2 果

果との関係を調べたところ、着果数が多いほど中果皮は薄くなり、軟果が多くなりました(図4)。これらの結果から、軟果の発生原因是光量不足や着果数が多すぎることが原因であると考えられました。

### (2) 葉面積が少ないと軟果が発生

次に下葉を摘葉し、残葉数と軟果発生との関係を調べました。

その結果、残した葉が少ない処理

(3) 軟果の発生は果実の横径が2～3cmの時に決まる

遮光・着果放任・葉数少区など軟果が発生しやすい条件下でも、軟果は処理後すぐに発生したわけではありません。軟果は、処理開始から約40日後から発生し始め、50～60日後に最も多く発生しました（データ略）。これは、中果皮が、果実肥大初期（幼果）の時に最も発達し、収

区の果実は、中果皮が薄くなり、軟果の発生率が増えました（図5）。この結果から、軟果は残葉数の不足つまり葉面積の不足も原因であると考えられました。

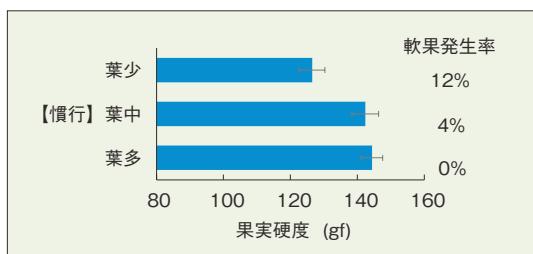


図5 残葉数が少ないと軟果が発生

葉長3cm以上の葉を1枚とカウントした。  
葉少区は、摘葉後の残葉数が14枚以下から3段目の果房が見える程度。葉中区は残葉数18枚で収穫中の果房が少し見える程度。葉多区は残葉数が23枚で収穫果房の下に葉が1枚残る程度に摘葉。

軟果が発生し始めた時には「時既に遅し」、もう取り返すことはできません。軟果は先を見据えた対策が必要です。

#### (4) その他の環境要因

温度や肥培管理と軟果との関係については現在研究を進めているところです。

### 四 まとめ 軟果発生メカニズム

これまでの試験結果や現地で軟果が多発するほ場の様子から、軟果の発生メカニズムをまとめました（図6）。現在も研究に取り組んでいると

### 五 軟果対策

原因の裏を返せば対策技術になります。

$\text{CO}_2$ 施用による光合成の促進や摘果により、着果数を減らすとともに、軟果の発生防止に有効です。また、硬い玉の品種や、節間が長く受光勢に優れる品種への切替も良いでしょう。

日照不足はどうかともおも

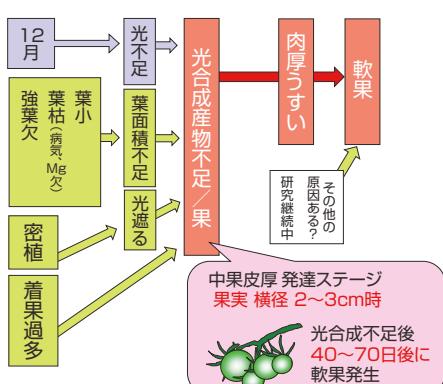


図6 軟果発生メカニズム

月の日照不足の時にも着果数が多く、1果あたりの光合成量が不足し、この影響が後れて顕在化するためです。春以降の軟果は、着果量が多いことや収穫後れが原因であると考えられます。

せんが、日照不足が心配されるときには、葉面積・残葉数を確保することが軟果の発生防止につながります。12月などの日照不足の時に、多収を目指した果実の着色促進や、病害虫対策、作業性等を優先した過度な葉欠きは、軟果の発生を助長するため、注意が必要です。

光合成不足にならないように、葉面積を確保するとても、下葉を気に欠きすぎないよう注意する、草勢維持・葉枯の防止、密植を避けた計画的な作付を行うなど、様々なアプローチがあります。総合的な対策をして、安定出荷につなげましょう。

磐田市富丘678-1  
静岡県農林技術研究所  
野菜生産技術科

agriyasai@pref.shizuoka.lg.jp  
(掲載ホームページ名)

静岡県農林技術研究所 研究成果情報  
／研究成果／2019年度  
<https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/report/>

# 建設部からのINFORMATION

担当 建設部 054-284-9523

大井川農業協同組合

## 焼津地区 新店舗オープン 大富支店建設工事 竣工式

12月1日、JA大井川は、大富支店建設工事の竣工式を行ないました。神事は、新型コロナウィルス感染拡大防止の対策を行ない、増田政光組合長をはじめ、最小限の出席者により厳粛に執り行われました。本工事は、旧店舗を営業しながら同敷地内に大富支店と焼津営農経済センターを併設した1棟の建物として建替えを行ない、1期工事が完了し、12月7日に



▲増田組合長の神事の様子

新店舗がオープンしました。地域の拠点として新たに建て替えられた施設には、災害時のBCP対策として、非常用発電機の設備も備えられています。現在、2期工事として進めている加工室、料理教室の改修整備、旧店舗の解体工事および外構工事は、令和3年3月に完成予定です。設計監理は、本会一級建築士事務所が行なっています。



▲新支店・営農経済センター

【 営農ナビ 】 イントラ版として情報発信していきます!

# あぐりんく静岡 からの お知らせ

県内JA限定 生産・事業推進に役立つ情報が満載!!

**農産物安全分析センター**

分析メニュー、申込書、分析フロー(手順)を掲載しています。分析の際はコチラから!

**経済連肥薬通信**

更新 経済連肥薬通信2月号  
経済連コンサルタントによる技術情報

**柑橘果樹情報**

柑橘誌紹介  
柑橘経営に役立つ記事を毎号掲載しています。  
申込も受付しています。

**販売情報**

**市場概況**  
大田市場、名古屋市場、大阪市場の概況を  
随時更新しています。

● イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課 (TEL 054-284-9729)

# JAタウン しづおか「手しお屋」のオススメ商品

JAタウン手しお屋ショップから  
この時期オススメの商品を  
ご紹介します♪

## JAハイナン「いもの華」(芋切干し)

今回はJAハイナンの干し芋「いもの華」をご紹介します!  
いもの華は、今流行りのしっとり・ねっとりした濃厚な甘みが特徴のサツマイモ「紅はるか」を主に使用しています。

全国的にも長い日照時間と、寒冷な遠州の空つ風で天日干しし、濃厚な甘みとうまみの詰まった逸品に仕上げました。

自然のチカラで完成させた芋切干しなので、こどもから高齢者まで、安心して食べていただける自然食品です。

そのまま食べるのはもちろん、オーブントースターで軽く焼くと甘さが引き立ち、しっとり軟らかい食感を味わえます。

担当:営業部 流通開発課 (TEL:054-284-9728)



▲JAハイナン「いもの華」(1袋200g)

●4袋セット…3,100円

3月中旬までの期間限定。

※販売時期や価格は変更する場合があります。



しづおか手しお屋

検索

▲商品詳細はこちら

## テレビ番組「しづおかごはんが食べたい!」のご紹介

食糧部は、協賛するテレビ番組「しづおかごはんが食べたい!」(全11回放送・テレビ静岡)で、県産米のPRを行っています。1月16日に放送された第9回目の放送では、令和3年1月から新発売した「静岡そだち」をお笑い芸人フォーリンラブ・バービーさんが紹介しました。

「静岡そだち」は、玄米の「タンパク」や「アミロース」などを計り点数化した食味値検査で「83点」以上の高得点を得た選りすぐりのお米です。そのお米を、厳選した農畜産物にのみ許される「静岡そだち」の称号を付けブランド化しました。この「83点」という点数は、令和2年静岡県産コシヒカリの検査結果のうちおよそ7%で、他のブ

ンド米にも負けない美味しさとなっています。

次回放送は磐田市から「にこまる」をオードリー・春日さんが紹介します。2月20日(土)夕方5時より放送予定です。

ぜひご覧ください!



▲「静岡そだち」をPRするバービーさん



▲静岡そだちこしひかりを紹介しました!

担当:食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)

# 新ブランド米 誕生

静岡のこだわりがココにある



# 静岡そだち

## 静岡県産コシヒカリ

「いつでも安定した美味しさ」を食卓にお届けします。



生産・集荷団体や県下JAグループでは、静岡県産米の生産振興における取り組みとして、【静岡そだち】という新たなブランドを作りました。

令和2年 静岡県産コシヒカリの約**7%**だけが  
「静岡そだち」として出荷されます。

※食味検査の結果を元に算出しています。 詳細はこちらからご覧ください



担当：食糧部 食糧課 (TEL 054-284-9737)

